

人口動態 (39. 10. 1 現在) 総人口 17,478人 男 8,953人 女 8,525人 出生 34人 死亡 7人 転入 78人 転出 42人

広報こうた No.84 昭和39年10月15日

今月の納税 町民健康保険税第三期分 納期日は10月28日です 町民健康保険税第三期分 納期日は10月28日です



幸田町の農業構造改善はすでに進むことから。自動車でそのスタットしていても一度程度からそう、どうしたら安くできるかという問題はあらまじいからといって、どうしたら農業はよくなるかという問題は、労働力と農具の改良方法で解決すべき問題である。

どうしたら農業はよくなるか 農業構造改善は進む

幸田町の農業構造改善はすでに進むことから。自動車でそのスタットしていても一度程度からそう、どうしたら安くできるかという問題はあらまじいからといって、どうしたら農業はよくなるかという問題は、労働力と農具の改良方法で解決すべき問題である。

幸田町大運動会迫る 11・1(日)開催. Includes a drawing of a runner and text about the upcoming sports event.

交通安全運動. Includes a diagram of a car's blind spot and text about safety measures for drivers.

交通安全運動. Includes an image of a traffic sign and text about road safety.

交通安全運動. Includes an image of a child and text about safety for children on the road.

タバコを買うなら町内で. Includes an image of a cigarette and text about buying tobacco locally.

籾乾燥調整施設

(ライスセンター) 完成!

かねてから建設中でありました
別荘建設連環(ライスセンター)
1)がこの完成して、十月七日
午前十時から、岩屋の建設場所
竣工式が執り行われました。
当日は晴れの雨でしたが、式の
始まる頃は、日差しが差し正に
「雨降って地固まる」とおき式典
には将米を約束されているよう
にこの日集された米質は厚行、
星野農業構造改善会始め西三河
事務所長、岩屋総代など約三百名
集まって行なわれました。

なにしてる西三河地方で唯一の
穀であって、その種類・内容も県
一を占めるもので参列の方々は、
皆驚かされてました。
この施設はご承知のとおり、も
ともと農業構造改善事業の一環と
して、水稲の機械化体系を確立し
その最終段階の籾を乾燥、調整し
て供給するもので、稲刈り直後
であります。次の様な利点がある
こと、最近よく注目され建設さ
れる様になったものです。

1. 籾質がかわらない
慣行法とくらべて一俵八〇円
安くなる。
2. 品質がよくなる
統一した品種で、乾燥・調整



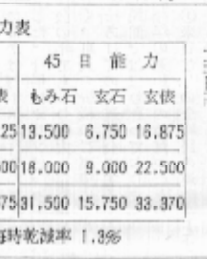
がよい。従って等級がよくな
る。一等以上れば八〇円手取
りが増える。

3. 手間がかからない
委託して手間は省けるので
余剰金が手取り出来る。
等々の効果は沢山あります。
このため事業主の幸田町農業
協同組合では昨八月から運搬を
かね創業を始めましたがいまの
ころ好評で申込は日増しに増加し
ています。利用をされた農家の意
見を聞きますと、

「毎年入れの時期になると、今
まで建てた部屋まで稼を入れ、
ホコリだらけの部屋で小さくなっ
て寝ていたが、今年は全部持って
いってもらったので清潔です」
とか、「今までではむしや干し、別
つたが稼だけ持っていけば全部安
心して一日のうちに農協でやっ
ておいてくれる」など好評です。
その成果も期待されています。
完成した施設・内容は次のとおり
です。

- 一、設置場所 幸田町大字岩屋字
岩屋五八の一
- 二、事業主 幸田町農業協同組
合
- 三、建物 鉄骨スレート
葺平屋建三八、〇六四
平方メートル(一四坪)
- 四、機械 吹上げ機一式
組川式A-100型一〇
石一〇基
- 五、工事費
建物 八〇七、一〇〇円
機械 九、四八、〇〇〇円
合計一七、五〇〇円
- 六、負担区分
国補助金 八、七五〇〇〇円
町補助金 三、五〇〇〇円
近代化資金 六、七五〇〇〇円
直接協賛負担金 一、六八〇、〇〇〇円

穀物を請求の外一割センター
三、搬入輸出……もみ一袋につい
て一〇円、玄米一俵一〇円。
四、利用料……水分一八多のものを
基準として玄米一俵を五
〇円とし、水分一多増す毎に
一五円高。



組川式A100型10石70基処理能力表

乾燥水分	回数	10日能力			35日能力			45日能力		
		もみ石	玄石	玄俵	もみ石	玄石	玄俵	もみ石	玄石	玄俵
24~14	3	800	150	375	10,500	5,250	13,125	13,500	6,750	16,875
21~14	4	400	200	500	14,000	7,000	17,500	18,000	9,000	22,500
18~14	7	700	350	875	24,500	12,250	30,675	31,500	15,750	33,375

上記は稼働時間240時間 稼働率100% 毎時乾燥率1.3%

青年よ書物に親しもう!

汽車で二人の青年の向かい合いに
聞きましただころ、週刊誌がスタ
席を取った私は青年の語り合っ
て政治論にふと耳をかたむける
気になりました。一人の青年は
「この新聞の解説記事の受け売
りには新聞の責任を押しつけてい
ました。」

又一人の青年は政治には、さほど
関心を持たぬのか、日々の新聞も
読んでいないのかと思われ、
「現在の社会の動きに対して何
の感情も持たない」という風
な、敢て無気力な語りであり
ました。私は二人の話を聞いて
いるうちに、一体この青年達は何
を考へ、何を語っているの
か、毎日の新聞も目を通してい
ないのではなからうかと思ひ一
人です。その後知人の青年サ
リーマン三、四人に読書につ
いての大切、武田信玄が便所の中

青年よ書物に親しもう!

「なかなかが暇がなくて読書など出
来ません」と言っていて居るのを
聞くと、私は「一体この青年達は何
を考へ、何を語っているの
か、毎日の新聞も目を通してい
ないのではなからうかと思ひ一
人です。その後知人の青年サ
リーマン三、四人に読書につ
いての大切、武田信玄が便所の中

軍事をわつた事は有名な事であり
ます。乃木大将も本を讀むために
便所の中に台をさそなえておられ
たと聞きます。又チポロは馬
上にてバイロンの詩集を讀み、か
つては兵隊の講義に参加して知字
の現われの果を求めました。この
一例を見ても忙がいかうか、
暇が無いからとあては理由にならな
いと思ひます。あくまで暇はつく
り出すものであると思ひます。

青年こそ読書を高め知識を深め
るためには大いに向学心、求道心
をふるふらなければなりません。秋
を迎えたい時、お奨めしたいに読
書には、(1)思索、(2)社会に大い
なる理念をつかみ、お互いに心登
かに論じ合える青年に成長する
ことを心から願うものでありま
す。(幸田町婦人会長)

人事異動

役場では次の職員が退職されま
した。
九月二十七日 杉浦 修吉
死に退職 遠山 良子
九月三十日付 遠山 良子

町民の声 (時事川柳)

我 児玉幸白
△国挙げて五輪音頭に秋晴れる
△合併に耳傾け秋晴れる
△協賛者の住付建つ秋晴れる
△協賛者が裏り黄金の雨波打つ秋晴れる
△もみを干す手間も着けて手内職
△種蒔かる子に秋の日暮早し

此の心は程どころ、
叱られる者は幸福で
ある見込なき者を叱
るに感謝し、青年よ
かなこい思に對し
ても、感謝の意を
現わす者ばだい

二、税と経理個人相談について
日時 十月三十一日
午後一時より四時まで
場所 幸田町農工会
相談員 幸田町農協事務官
経営指導員
備考 皆様ののご来庁をお待ち
いたします。

幸田町労務対策協議会設立

目的
①労務対策事業計画を樹立、労
働力の確保と経営、生産技術、
厚生福利の整備を計り、自清
な事業の運営及び郷土発展に寄
与するを目的とする。

活動内容
①関係官庁と協力して必要労務
者の充足をはかる。
②雇用確保のため積極的な啓蒙
宣伝活動を行う。
③受入促進のため、関係機関と
密接に連絡調整を行なう。
④受入体制の整備について関係
機関と協賛研究を行なう。
⑤町内事業所における雇用促進を
ため調査研究を行なう。

町内事業所は町内労働者を待つて
居ます。次の事業所が皆さんの就
業を希望します。
事業所名 求人数(希望年齢)
三興レイヨン株式会社幸田工場 十六才、五十才
女子三十名
幸田製糖有限会社 十六才、四十五才
女子二十名
新光製糖株式会社 十六才、四十五才
女子十名
野島製糖株式会社 十六才、四十五才
女子二十名
瑞吉工業株式会社 二十才、四十才
女子十五名

もつと大きく
育てよう共同募金
(昭和三十九年十一月三十一日)
すみわたる秋空のかがやき、目
にしめるような赤い羽根の色。明
るく美しく、みんなそろっての
赤い羽根は、あなたの善意のシ
ンボルです。たすけあいのあなた
心を持ちよる国民のたすけあいの
かな心持を、あなたの胸にかけ
まじよう。赤い羽根運動は都道府
県ごとに、あらゆる民間社会福
祉事業施設や団体の計画をま
め、十分に審議した上で、目標額
をきめます。こうしてきめられた
目標額ですら、努めてこれを達
成できるように協力したいもの
です。

株式会社 興工商店 四十才
富士電子工業所 四十才
有限会社 二十才、五十才
男子五名
大黒紡績工場 二十才、三十五才
女子二名
外木建設工場 二十才、四十才
男子四名
青藤製菓工場 十六才、四十五才
女子一名
尾崎製菓工場 二十才、四十才
男子三名
牧原織物工場 十六才、四十五才
女子二名
鈴木木工工場 二十才、三十五才
男子二名
新光美容室 十六才、三十五才
女子二名
松山製糖工場 十六才、三十五才
男子二名
計十八事業所
男子一十九名 計一五七八名
女子一十九名 計一五七八名

昭和39年度秋期
案内

危険物取扱従事者講習会
危険物取扱主任者試験
★取扱従事者講習会
1. ところ 11月8日(日) 9:30時~5:00時
2. とこ 知立中学校
3. 受講要項 重要者は申込書(後掲)にあ
ります)に所要事項を記入のうえ10月
12日~21日(試験 願書受付期間と同じ
じ)に講習費150円を添え後掲へ提出
してください。

★取扱主任者試験
1. ところ 11月22日(日) (午前10時)
2. ところ 知立中学校
3. 試験の種類 乙種第4類のみ。
4. 資格 5ヶ月以上4類危険物取扱従事
者試験
5. 受験者は願書、写真(4×3
cm)1枚、手数料300円
6. おま、くわしいことは役場総務課へお
たずねください。
7. 願書受付期間 昭和39年10月12日~同
月21日まで。ただし日曜日は除き8:30
時~5:00時 土曜日は8:30時~12:00時

